

時計台

笑顔の登校
感謝の下校

大津町立大津北中学校
〒869-1233
大津町大字大津
310番地
TEL 294-2310
文責 山本幸二

学校教育目標：「夢の実現に向け、一人一人が光り輝く北中生の育成」

令和2年度が終了しました

本日3月24日(木)、令和2年度修了式をライブ中継を使って行いました。私から、4月の始業式に伝えた3点(①「笑顔あふれ、いじめや差別がないみんなが安心して過ごせる大津北中学校にしましょう。」②「夢を実現させるために、目標を持ち、努力してほしい。」③「毎日を笑顔で登校し、感謝の気持ちを持って下校してほしい。」)についてそれぞれに振り返ってもらいました。コロナ禍の中ではありましたが、生徒達は、新しい生活様式を実践しながら工夫し、学習や部活動、学校行事等によく頑張ったと思います。まさに、「誇れる北中」であったと思います。代表生徒の意見発表からもコロナ禍の中ではありましたが、充実した1年間であったことを伺い知ることが出来大変嬉しく思いました。

明日(3月25日)から4月7日までが春休みとなります。病気や事故に十分気を付けて、次年度への準備期間として、有意義に過ごして欲しいと思います。そして、4月からは、2年生は、3年生となりますので、最上級生としての自覚と誇りを胸にこれからの大津北中学校をリードして行って欲しいと思います。1年生は、2年生として3年生とともにこの北中を更に素晴らしい学校にするために頑張りたいと思います。教職員、全校生徒が一丸となって更に素晴らしい大津北中になるよう取り組んでいきたいと思っています。

【保護者・地域の皆様へ】

今年度は異例のスタートとなりました。休校から始まり学校が再開したのは、6月でした。教育活動も新しい生活様式を実践しながら、工夫に工夫を重ね、教職員、生徒が一丸となって取り組んできました。学校行事等は中止や縮小、延期など余儀なくされましたが、縮小の中でも出来る喜びをかみしめ工夫しながら生徒のみんなは本当によく頑張ったと思います。これも保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力、そしてご支援あつてのことだと感謝申し上げます。本当に1年間ありがとうございました。来る令和3年度も教職員、生徒がこの大津北中学校が更に素晴らしい学校になるよう全力で取り組んで参りますので皆様のご理解とご協力をお願いします。

春風の中、サーキット場を駆け抜けました



3月17日(水)1、2年生は、HSR九州サーキットコースをお借りして大津北中恒例の「学級対抗駅伝競走大会・チャレンジ大会」を実施しました。当初は、昨年12月24日に1年生から3年生まで学校全体で予定していた行事でしたが、雨天のため中止していた大会です。これまで、体育の授業を中心に練習をしてきた成果を十分に発揮し春の日差しの中清々しい汗を流していました。なお、この大会については、3月18日付け熊本日日新聞朝刊でも紹介されました。学級・学年の親睦を深め団結力を高めることが出来たと思います。今後の学校生活に是非生かして欲しいと思います。

「みんなちがってそれでいい」自分の事としてしっかり考えました



3月2日(火)1、2年生を対象に性教育講話を実施しました。ダイバーシティWaku Waku(セクシャルマイノリティ当事者が集い結集した有志連合)から蒲生トーマス逸司さん、曾方晴希さんの2名の方に「みんなちがってそれでいい」と題して講話をいただきました。体育館で1年生は直接、2年生は、それぞれの教室にてリモート中継で話を聞きました。その後、質疑応答を行いました。自分の事と重ねて考えたり、多様性について理解を深めたりする様子が生徒達の感想等から伺うことが出来ました。これからもお互いの違いを認め、安心して生活できる大津北中学校を今後も生徒、教職員で作っていききたいと思います。



思い出の1ページを刻みました



3月16日(火)2年生は、荒尾市のグリーンランドへ修学旅行に行きました。当日は、午後からは、小雨混じりで肌寒い状況ではありましたが、生徒達は、班別行動で、決まりやルールを守り笑顔いっぱい過ごす様子を見てほほえましく思いました。この修学旅行で経験したり、学んだりしたことを今後の学校生活に生かして欲しいと思います。なお、本校の修学旅行については、年度当初は、沖縄に昨年12月に行く予定をしていましたが、コロナ禍により旅行先を広島方面、期日も延期して3月に変更しておりました。ところが、年が明け更に厳しい状況となりましたので、県内で日帰りの旅行にして実施しましたことを申し添えます。



情報発信の一助に活用



例年PTA会計から教育振興費として教育充実のために予算をいただいております。12月に行われました第1回運営委員会にてご承認をいただきその教育振興費を活用して、先日正門付近に掲示板を設置いたしました。生徒、保護者をはじめ来校される方への情報発信のツールとして有効活用させていただきたいと思っています。ご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

